



1年生で行った「SGHオリエンテーション」と「課題研究に関する学びの導入①」に関する授業の報告です。

◇ SGHオリエンテーション（4月13日）の様子

SGH 活動の年間の流れを、林研究推進部長より動画を使っての具体的な説明がありました。SGH の一つの目標として、単に学力が高いとか英語を話せるということだけではなく、授業・部活動・学校行事などの様々な教育活動を通して、“課題発見・課題解決能力”の育成をめざすことが挙げられます。生徒の皆さんは、熱心に耳を傾けていました。



◇ 課題研究に関する学びの導入①（4月18日）の様子

1年生の年間のテーマである「インバウンド:外国から日本(中濃地区)へ観光客を呼び込もう」の学びの導入として、“Who are you? What is your culture?”というテーマで、英語でのワークショップを行いました(担当:木野村淳子教諭)。自分は何者であるか? 日本が誇れる文化とは何か?について、ペアや全体で考えをシェアし、仲間から学びあうことができました。



生徒の感想

- * 僕たち日本人は、アメリカやイギリスなど外国にあこがれることもあり、その割に日本は…なんて思うこともあるけど、実は日本には日本らしい文化があり、民族性があり、それが美しいことだと分かった。掃除をしたり、列にしっかり並んだりなど、相手のため、誰かのために何かできる国が日本だと思った。日本人としてのプライドを持ちながら**世界で共生できるような人になりたい**。
- * 日本はものすごく「やさしさ」のにじみ出ているような国だと分かりました。話の中でもでてきた、ハンカチを持ち歩くこと、きれいに公共のものを利用すること、笑顔やさりげないおじぎなど、いつも当たり前私たちがしていることが外国から見ると、日本の良さだということが分かりました。今回は世界に誇れる日本の文化について考えましたが、**同じようにほかの国にも良いところがたくさんある**のではないかと思います。